

# <コミュニティ>

## 中山間地域における次世代型交通システム（2000～2010年度）

### ◇概要

中山間地域における持続可能な生活交通を構築するためには、地域住民や自治体による内発的な取り組みをサポートし、「地域交通を広く見つめて支える」仕組みが必要です。また、結節点となる拠点を整備・活用することで地域内交通と広域交通のネットワーク化や、電気自動車など新たなエネルギー源の導入可能性を探ることも求められています。本研究では、地域住民や市町村、県、国、交通事業者、商業関係者等による分野横断的な連携による実証・構築に向けて整理を進めました。

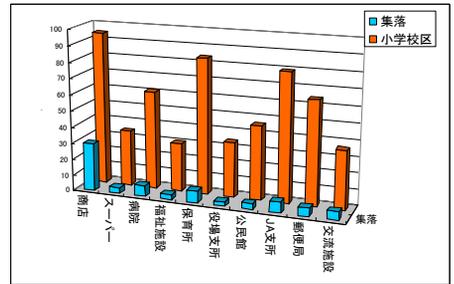
### ◇現状と課題

#### ①拠点配置

車による広域移動を前提とした施設配置や分散型居住化の中で、商店や医療機関などの生活拠点は集落内ではなく小学校区単位で充足されるようになってきています。基本的な生活拠点とアクセス手段の複合的な確保が求められます。

#### ②4割を超える免許非保有者

中山間地域では、運転免許非保有層が、女性高齢者や18歳以下を中心に、全人口の4割以上を占めています。また、女性に限れば、過半数の方が運転免許を持っていません。



中山間地域における生活拠点の配置状況（1998）

### ◇ねらい

#### ①広域幹線系と域内循環系で整理

広域をすばやく・大量につなぐ広域幹線系と、地域内をきめ細かく回る域内循環系について、適応した運行や車両を選択するトータルデザインが重要です。域内循環系では、貨客混載型のデマンド交通なども考えられます。

#### ②分散的地域では結節点が重要

分散的居住地域では、小学校区等の基本的な生活エリアごとに複合的な生活拠点と交通結節の機能を有する「広場」＝「小さな拠点」（右図）を創出し、住民や観光客が自然に顔を合わせ交流する仕組みにすることが生活の質向上のために重要です。

国土のグランドデザイン（2014年3月発表）にも、集落地域を支える新たな複合機能拠点として「小さな拠点」構想が登場



「小さな拠点」構想が「国土のグランドデザイン」に位置づけ

### ◇手法

- 2000年 全県中山間地域の生活交通路線と集落交通状況のGISマップ作成（交通対策課）
- 2003年 中山間地域における新たな交通システム（中国地方知事会共同研究）
- 2003年 地域バス運行計画策定支援ソフト開発に参画（中国運輸局）
- 2004～05年 公共交通計画業務を受託（吉賀町・津和野町）
- 2005年 旅客・貨物複合輸送実験事業を受託（中国運輸局・邑南町）
- 2007年 中国圏広域連携データ検討調査を受託（中国地方整備局）
- 2008年 中国圏広域連携データ分析調査を受託（中国地方整備局）
- 2010年 奥出雲町で「交通カルテ」を試作「中山間地域交通研究会」の設立・開催



「中山間地域交通研究会」の開催

### ◇成果

- ① 全国初の全県規模のバス交通状況GISデータベース構築（島根県）
- ② 域内循環系と広域幹線系のトータル交通プラン作成（吉賀町・津和野町）
- ③ 旅客・貨物複合輸送実験事業を受託（中国運輸局・邑南町）
- ④ 「バーチャル中国GIS」による中国地方の拠点・ネットワーク構造解明および拠点配置・CO2削減シミュレーション（中国地方整備局）
- ⑤ 「郷の駅」構想の政策提言と広域ブロック連携調査等における体系化
- ⑥ 市町村全体および小地域における生活交通状況の診断・計画支援システムとして、「交通カルテ」の手法開発



GISを駆使した交通計画を行っています

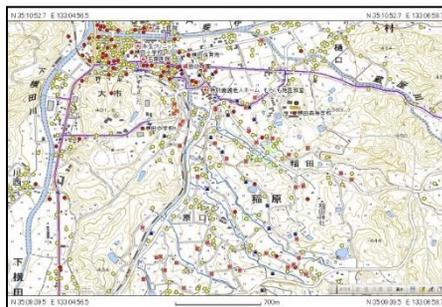
# 研究成果アルバム

## ①市町村「交通カルテ」のマップ事例



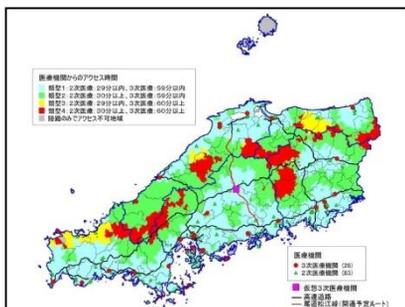
地図上で世帯・路線分布を重ね不便地域を把握します。

## ②小地域「交通カルテ」による利用者集約



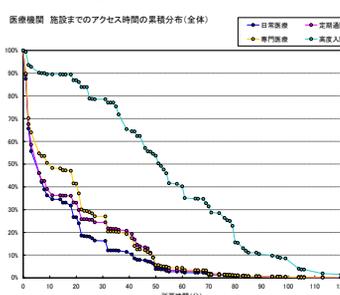
コミュニティ組織が中心に交通不便者を地図上で分析

## ③分散的居住下でのネットワーク構造



\*新たな高次拠点と高速道路整備を組み合わせ、中国圏広域連携データ分析調査により

## ④医療機関の機能階層別アクセス状況比較



機能が上がるしたがって、長い時間をかけて移動する傾向 (「中国圏広域連携データ調査」より)

## ⑤邑南町で実験運行した貨客混載デマンドバス



中国運輸局事業として2005年12月より3か月運行

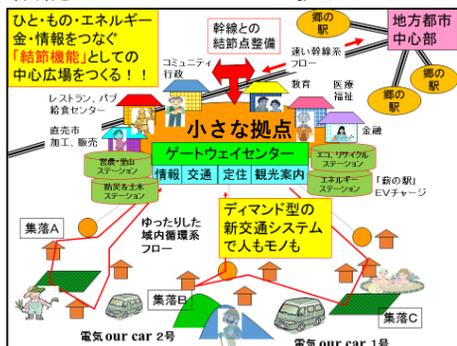
\*予約をすれば、人も荷物も玄関先まで送り届ける仕組みで運行。

## ⑥広域幹線系と域内循環系のトータルデザイン

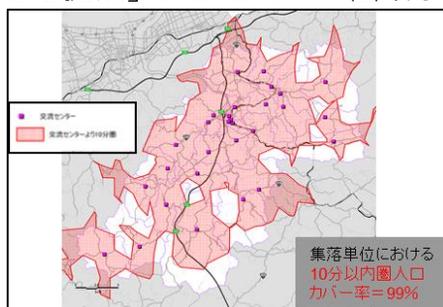


吉賀町では域内循環系は原則デマンド型で運行

## ⑦結節機能としての小さな拠点



## ⑧「小さな拠点」によるカバー圏域予測



高速道路網等を踏まえた中山間地域等構造分析調査より

\*各地区の交流センターに「小さな拠点」を形成～医療施設、コンビニ、ガソリンスタンド、福祉施設の複合整備を仮定

## ◇連絡・問い合わせ先

島根県中山間地域研究センター 企画情報部 地域研究スタッフ

担当 主任研究員 東 良太、主席研究員 有田 昭一郎、専門研究員 安部 聖

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207番地

TEL : 0854-76-3846 FAX : 0854-76-3758

E-mail : azuma-ryota@pref.shimane.lg.jp

H P : <http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>